



MS217-00001

タイヤ空気圧・温度デジタルゲージキット

取付・取扱説明書

この度はタイヤ空気圧・温度デジタルゲージキットをお買い上げ頂きありがとうございます。
本書には上記品の取付要領と取扱いについて記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、本書に従って正しい取付、取扱いをして下さい。
なお、本書は必ずお客様にお渡し下さい。

● 本商品は日本国内用です。電波の使用に関する法律が異なるため海外では使用できません。

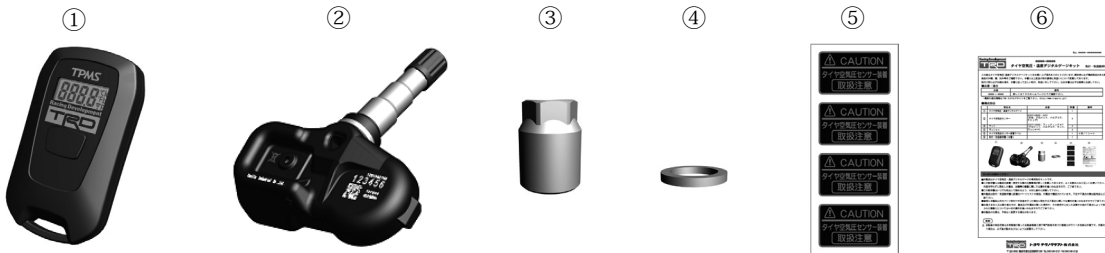
■品番・適合

品番	備考
MS217-00001	詳しくはTRDホームページにてご確認ください。

・最新の適合情報は TRDカタログサイトをご覧ください。〈<http://www.trdparts.jp/>〉

■構成部品

	部品名	数量	備考
①	タイヤ空気圧・温度デジタルゲージ	1	
②	タイヤ空気圧センサー	4	
③	ナット	4	
④	ワッシャー	4	
⑤	タイヤ空気圧センサー装着ラベル	1	4枚/1シート
⑥	取付・取扱説明書(本書)	1	



※開封時に必ず構成部品がある事、商品の外観、傷、凹み等をご確認ください。

■補給部品

部品名	品番	数量	備考
ASSY (タイヤ空気圧センサー)	42607-59005	各1	タイヤ空気圧センサー(グロメット、バルブコア、キャップ) ナット、ワッシャー
フィッティングKIT	04423-33060	各1	ナット、ワッシャー、グロメット、バルブコア

■目次

1. タイヤ空気圧・温度デジタルゲージの取扱	3
2. 電池交換のやり方	4
3. タイヤ空気圧センサーの取付作業	5
4. タイヤ空気圧センサー装着タイヤセットのリム解き時の作業	5

はじめにお読みください

- 本商品はタイヤ空気圧・温度デジタルゲージの専用取付キットです。
- この説明書には商品を装着～使用する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになり正しくお使い下さい。内容を守らずに発生した事故、故障等の損害に関しては責任を負いかねますので、ご了承下さい。
- この説明書はいつでも取出して読めるよう、大切に車内に保管して下さい。
- 本商品は取付・取扱説明書に記載のパーツリストの部品、付属品で構成されています。不足や不具合の際は販売店にご連絡下さい。
- 車両に本商品以外のパーツ取付けや改造を行った場合に発生する不具合に関しては責任を負いかねますのでご了承下さい。
- お客様本人又は第三者の方が、商品及び付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 本商品の仕様は、予告なく変更する場合があります。

タイヤ交換・パンク修理時のお願い

タイヤをホイールから取外す時タイヤ空気圧センサーを損傷させる可能性があります。

タイヤ販売店(修理業者)に本書を提示してタイヤ空気圧センサーを装着していることを必ず伝えてください。

警告

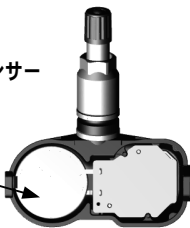
- ⚠ 本商品の取付・部品交換は、トヨタの販売店もしくは自動車整備工場で行ってください。
- ⚠ 本商品は精密機器です。分解・改造・加工は絶対にしないでください。また、それらに起因した故障や事故等あらゆる事象に対し、弊社は一切の責任を負いません。
- ⚠ タイヤ空気圧センサーの取付けは必ず設備が整い、自動車修理の有資格者がいる整備工場にご相談ください。間違った取付けを行うと、タイヤの空気漏れ等が発生し、事故・損傷が発生する危険性があります。
- ⚠ バルブキャップ及びナット、ワッシャーは付属品を必ず使用してください。金属性など付属品以外のバルブキャップを使用すると、タイヤ空気圧センサー本体の金属部に腐食が発生し、エア漏れなどの重大な不具合が発生する恐れがあります。
- ⚠ 本商品は設定空気圧が380kPa以下のタイヤにご使用ください。
タイヤ空気圧センサーのバルブキャップ、ナット、ワッシャ、グロメット、バルブコアは必ず付属のものをご使用いただき、タイヤ交換の際は、必ず新品のナット、ワッシャ、グロメット、バルブコアに交換してください。
- ⚠ タイヤがパンク状態で走行する、または、パンク修理剤を使用した場合は、タイヤ空気圧センサーが損傷する恐れがあります。その場合は必ず新品のタイヤ空気圧センサーに交換してください。
- ⚠ タイヤ空気圧・温度デジタルゲージは水分（液体等）またはガソリン、オイルなどの溶剤が付着しないようにしてください。また、付着した場合は直ぐに拭き取ってください。内部に水分が入り込むと漏電による感電、発火等で商品が故障・損傷する場合があります。
- ⚠ タイヤ空気圧・温度デジタルゲージは極端な低温、高温、および湿気の多いところ、また直射日光にあたる場所（窓際、車内など）のご使用、保管は避けてください。本体の変形、変色、故障などの原因となります。
- ⚠ 本商品は重いものをのせたり、曲げたり、ひねったりしないでください。また、落としたり、強いショックを与えないでください。
- ⚠ 本商品は幼児や使い方のわからない方の手の届かない場所に保管してください。
- ⚠ 本商品は日本国内用です。電波の使用に関する法律が異なるため海外では使用できません。
- ⚠ お取扱い時などに電池の液が目に入った時は、失明や障害を受ける可能性があるため、すぐに水で洗い流し医師の治療を受けてください。

注意

- ⚠ **タイヤ空気圧センサーは適合ホイールのみ装着可能です。**
- ⚠ タイヤ空気圧・温度デジタルゲージは測定するタイヤのタイヤ空気圧センサー装着部に向け、近づけた状態でスイッチを押してください。
- ⚠ 本商品はタイヤの空気圧を表示するものであり、パンク等の急な減圧を事前に予測するものではありません。
- ⚠ 低空気圧の場合、タイヤ点検・空気圧の補充をお願いします。
- ⚠ 本商品は電波によりタイヤ空気圧をデータ送信しています。このため、タイヤ空気圧センサーの位置や取付環境、他の電子機器等の影響により一時的にデータ受信ができず、正常に表示しないことがあります。
- ⚠ 以下の場合には、本商品が正常に動作しないことがあります。
 - ・駐車場などで自車両の隣の車に同種類のタイヤ空気圧センサーが装着されている場合
 - ・タイヤチェーンを装着している場合
 - ・近くに同じような無線周波数を使う施設や器具がある場合
 - ・車内で同じような無線周波数を使う電子機器を使用している場合
 - ・ホイール、ホイールハウスの周りに多くの雪や氷が付いた場合
 - ・タイヤ空気圧センサーまたはタイヤ空気圧・温度デジタルゲージの電池が消耗した場合
 - ・パンク修理剤を使用した場合
- ⚠ 空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態で行ってください。
- ⚠ 本商品は一般的な車両用が開発されたものです。装着後に 車両の仕様変更 / 改造をされた場合、正常に動作しない場合があります。
- ⚠ タイヤ交換作業時（タイヤをホイールから取外す時）タイヤ空気圧センサーを損傷させる可能性があります。タイヤ販売店にタイヤ空気圧センサーを装着していること、本書記載の注意事項を遵守することをお伝えください。
- ⚠ タイヤ空気圧・温度デジタルゲージの電池残量が少なくなると何も表示されない状態になります。新しい電池と交換してください。消耗した電池を本体内に放置しますと、液漏れ等をおこし故障の原因になります。
- ⚠ タイヤ空気圧・温度デジタルゲージの電池交換の際は、新品のコイン型リチウム電池CR2032を使用してください。
- ⚠ タイヤ空気圧・温度デジタルゲージの電池は必ず+、-の方向を正しく入れてください。
- ⚠ タイヤ空気圧・温度デジタルゲージは先端が鋭利なもので操作しないでください。
- ⚠ 使用済み機器の廃棄方法については、各地方自治体の法令に従い正しく廃棄を行ってください。
- ⚠ タイヤ空気圧・温度デジタルゲージの廃却時には、4ページの図6の手順で電池を取り外した後、分別して各地方自治体の法令に従い正しく廃棄を行ってください。
- ⚠ タイヤ空気圧センサーの廃却時には、ドライバーなどを使用しポッティング剤を除去してボタン電池を取り外した後、分別して各地方自治体の法令に従い正しく廃棄を行ってください。

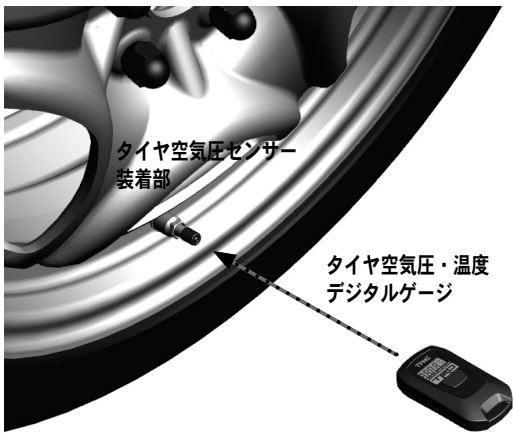
タイヤ空気圧センサー
(裏面)

ボタン電池



タイヤ空気圧・温度デジタルゲージの取扱

図 1



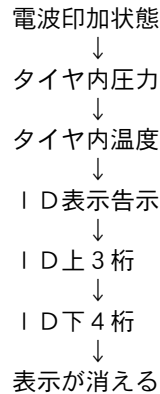
①図1のようにタイヤ空気圧・温度デジタルゲージはタイヤ空気圧センサーの装着部に向けてできるだけ近づいた状態で、スイッチを1秒以上押す。

⚠ 注意 ・ タイヤ空気圧・温度デジタルゲージとタイヤ空気圧センサー装着部との距離は約30cm程度です。

図 2 (正常動作時の表示例)

	タイヤ空気圧・温度デジタルゲージの電波印加状態を表示
	タイヤ内の圧力を表示
	タイヤ内の温度を表示
	これからタイヤ空気圧センサーのIDを表示することを告辞
	タイヤ空気圧センサーのIDの上3桁を表示
	タイヤ空気圧センサーのIDの下4桁を表示
	表示が消える

②正常に動作した場合、タイヤ空気圧・温度デジタルゲージの液晶に図2のように表示する。



⚠ 注意 ・ 表示する圧力はゲージ圧力(相対圧力)です。
 ・ IDは全部で7桁となります。
 ・ IDはタイヤ空気圧センサー固有の番号であり、個々に違う番号です。

ワンポイント

隣接する車両に、同様のタイヤ空気圧センサーが装着されている場合、正しく測定できない場合があります。測定したいタイヤホイールのタイヤ空気圧センサー部にタイヤ空気圧・温度デジタルゲージを近づけて操作を行ってください。

図 3 (電波が届いてない状態時の表示)

	電波が届いていない状態 この表示がでた場合は 更に近づけてスイッチを押す
--	--------------------------------------------

③電波が届かない場合は図3のように「-----」と表示する。そのような場合、測定したいタイヤホイールのタイヤ空気圧センサー部にタイヤ空気圧・温度デジタルゲージを近づけて操作を行う。

図 4 (電池消耗時)

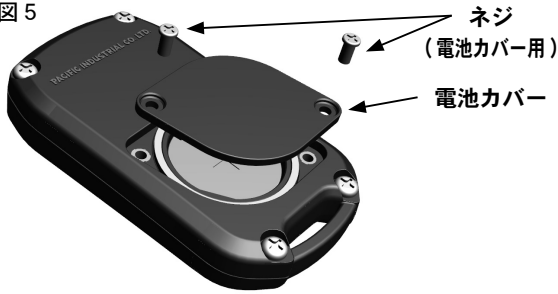
	スイッチを1秒以上押しても何も表示されない場合は電池交換必要
--	--------------------------------

④スイッチを1秒以上押しても、図4のように何も表示されない場合は電池交換をする。

⚠ 注意 ・ 電池交換方法は4ページを参照してください。
 ・必ず新品の電池(CR2032)に交換してください。

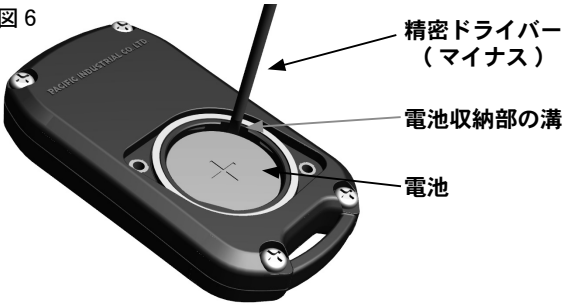
電池交換のやり方

図 5



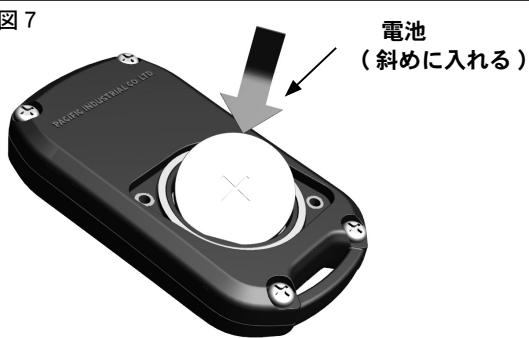
①図5のように電池カバーのネジ2箇所を精密ドライバー #0 (プラス) を用いて外し、電池カバーを外す。

図 6



②図6のように電池は精密ドライバーの- (マイナス) などを用いて電池収納部の溝に挿入し電池を持ち上げるようにして外す。

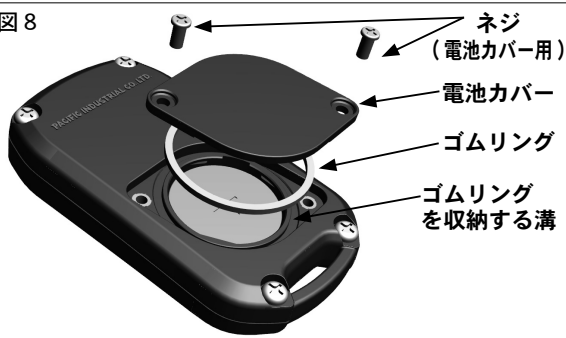
図 7



③図7のように新品電池 (CR2032) の+側を外側にして斜めに挿入する。

- ⚠ 注意
- ・電池は必ず新品のコイン型リチウム電池 CR2032 に交換してください。
 - ・電池の+側が外側になるように+-の方向を正しく入れてください。

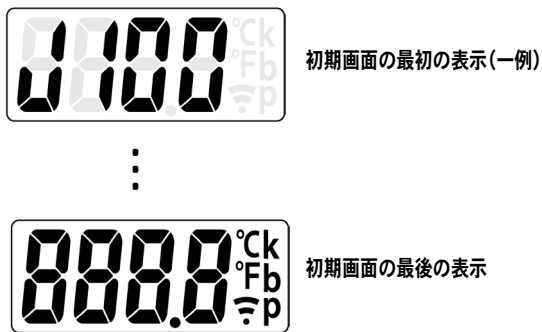
図 8



④図8のようにゴムリングを溝に装着し、電池カバーを装着後、ネジ2箇所を精密ドライバー #0 (プラス) で締める。

- ⚠ 注意
- ・電池交換後は初期画面を表示する場合があります。図9のような初期画面表示をした後に液晶画面は消灯します。
 - ・電池残量がある状態で電池交換した場合は、初期画面を表示しない場合もあります。スイッチを1秒以上押し表示ができれば正常です。

図 9 (初期画面表示例)



タイヤ空気圧センサーの取付作業

図 10

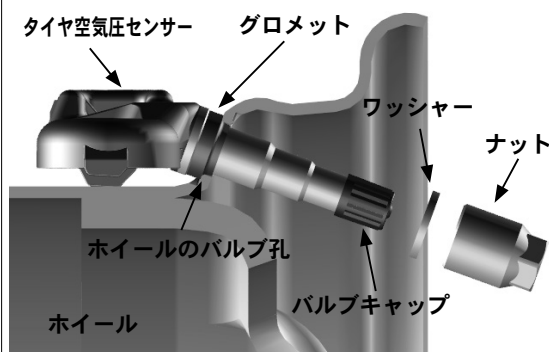


図 11



図 12

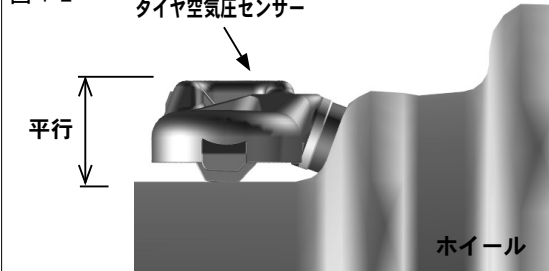


図 13



①タイヤをホイールから取外し、ホイールのバルブ孔周辺を清掃する。

- ⚠ 注意
- ・バルブ孔周辺の清掃が不十分の場合、エア漏れの危険性があります。
 - ・バルブ孔部に錆が発生しているホイールは、エア漏れの可能性があるためタイヤ空気圧センサーの取付けは行わないでください。

②図 10 を参考にグロメットを装着した状態のタイヤ空気圧センサーをホイール内側からバルブ孔に挿入する。

- ⚠ 注意
- ・図 11 のようにタイヤ空気圧センサーは、印字が見える向きに装着してください。
 - ・タイヤ空気圧センサーのグロメット部にビードクリームなどの塗布は行わないでください。

③外側からワッシャー、ナットの順で装着する。仮締めを行ったあと、トルクレンチを使用して規定トルク(4.0 ± 0.6 Nm)で締め付ける。

- ⚠ 注意
- ・タイヤ空気圧センサーのバルブキャップ、ナット、ワッシャー、グロメット、バルブコアは必ず付属品をご使用ください。不適合品を使用すると、エア漏れにつながり、低空気圧走行やパンクの原因となります。
 - ・タイヤ空気圧センサーのナット、ワッシャー、グロメット、バルブコアはタイヤ交換の際に必ず新品に交換してください。
 - ・ナットは規定トルク(4.0 ± 0.6 Nm)で締め付けを行わないと、エア漏れの危険性があります。また、過大トルクは損傷を招きます。必ずトルクレンチを使用してください。

④図 12 を参考にタイヤ空気圧センサーがホイールと平行に取付ける。

⑤図 13 を参考にタイヤ空気圧センサー装着ラベルをホイール内側バルブ孔周辺にホイールに貼付ける。

- ⚠ 注意
- ・タイヤ空気圧センサー装着ラベルは、貼付けるホイール面、車両の貼付面の汚れ、油脂等を除去してから貼付けてください。

⑥タイヤ空気圧センサーを損傷させないようにタイヤチェンジャーを使用してリム組みを行う。

- ⚠ 注意
- ・タイヤレバーやタイヤビードがタイヤ空気圧センサーに接触しないように注意して作業を行ってください。

⑦リム組みしたタイヤに設定空気圧の空気を充填する。

- ⚠ 注意
- ・空気充填時、ビードシーティング圧は 300 kPa 以下としてください。
 - ・空気充填は安全圏に入れて実施してください。

⑧空気充填後、バルブ、バルブコア、バルブ周辺、タイヤビード部等からのエア漏れが無いことを確認する。

⑨バランスによりバランス調整作業後、車両に取付ける。

⑩タイヤ空気圧・温度デジタルゲージの表示を確認しながら、設定空気圧 + 10 kPa に設定する。

- ⚠ 注意
- ・設定空気圧の調整作業は、走行後のタイヤ形状変化や自然漏洩による空気圧減少を考慮して、設定空気圧 + 10 kPa に調整してください。
 - ・空気充填後は必ずバルブキャップを装着してください。
 - ・空気充填は安全圏に入れて実施してください。

タイヤ空気圧センサー装着タイヤセットのリム解き時の作業

- ①バルブキャップ、バルブコアを取外し、タイヤの空気を抜き 0 kPa にする。
- ②タイヤ空気圧センサーのナットを取外し、バルブ部を押しタイヤ空気圧センサー本体をタイヤ内部に落とし込む。
- ③バルブ孔座にあるワッシャーを取外す。
- ④上側ビートの取外し後、タイヤ内部に落とし込んだタイヤ空気圧センサーを取出す。

- ⚠ 注意
- ・タイヤ空気圧センサーの再取付時は、本体を清掃し、異常がないか確認の上、補修部品(ナット、ワッシャー、グロメット、バルブコア)を必ず新品に交換してください。

株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント

TRD 商品問い合わせ窓口

〒222-0002 横浜市港北区師岡町 800 番地

TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122

<http://www.trdparts.jp/>

Racing Development

TRD